

所管課		環境共生部環境保全課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策												
	第1章 環境調和都市		05 循環型社会		01 循環型社会を構築する												
	事業：環境推進事業												整理番号	0209			
目的	河内長野市環境基本計画に基づき循環と共生と参加を基調にした環境調和都市をめざす。																
目標	市役所本庁舎からのCO2排出量の削減																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		1,125		コスト情報・評価	総コスト(千円)		9,060		総合評価	A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		1,125		内訳	事業費		1,125			効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		7,935			有効性		A			
		地方債		0			公債費		0		環境調和都市の実現のためには計画の設定とバイオマスタウンの推進が必要であり、適正な経費で効果を上げている。						
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		80								
							世帯あたり(円)		192								
	貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	大いに貢献している。										
今後の方向性	特定外来生物による被害など、生物多様性に係る課題などもアピールしながら本市の環境保全につなげていく。また、高等教育機関とも連携し、木質系バイオマス利活用の検討を進める。																

事業優先順位		2 細事業:環境基本計画推進事業				整理番号		01							
目的		環境基本計画の目的の達成に向け、市民・市民団体・事業者の参画と協働により施策展開を図り、計画を継続的に推進する。													
目標		人材育成講座の実施													
事業実施主体		直営		事業開始年度		平成13年度		根拠法令							
事業費・財源			平成24年度		比較		コスト情報・従事職員数			平成24年度		比較			
	事業費(決算額)(千円)		338					総コスト(千円)		4,306					
	財源内訳	一般財源		338				内訳	事業費		338				
		国府支出金		0					人件費		3,968				
		地方債		0					公債費		0				
		その他特定財源		0					一人あたり(円)		38				
				0					世帯あたり(円)		91				
				0					職員数(人)		0.50				
			0					再任用職員数(人)		0.00					
	今後の方向性		特定外来生物による被害など、生物多様性に係る課題などもアピールしながら本市の環境保全につなげていく。												
評価	妥当性		効率性		有効性		対象者	河内長野市民							
	A		A		B										

事業：環境推進事業

地球温暖化の防止や限りあるエネルギー資源の利用等の問題を市民・事業者・行政が共有し、同じテーブルで対策を考えることで、それぞれの得意分野を活かした循環型社会を形成し、地域の継続的發展に資することを目的とする。

細事業：環境基本計画推進事業

1. 循環型社会の推進

高度経済成長時代の「使い捨て」から「リサイクル」へ転換し、限りある資源を有効利用する社会の構築のため、市民・事業者・行政の環境に対する意識を変え、同じ目的で行動できるよう施策を展開する。

(1) 環境基本計画推進業務

環境基本計画の目的達成のため、市民・事業者・行政が課題を共有し、協働により解決に当たることが求められることから、市民が環境に触れ、環境問題について考える機会を設定した。

① 地域人材の育成

自然豊かな本市の環境を損なうことなく次世代に継承していくことが重要と考えられ、地域で自然環境に関する活動ができる人材を育成するために環境共生塾を実施した。大阪産業大学花田教授の講演会を始めとし、身近なところで環境保全に関する活動をしているボランティア団体の話を聞くことや活動体験することにより、本市の自然を身近に感じ、愛着心を醸成するとともに、大阪府立大学大学院石井教授の指導のもと、環境学習のための知識とスキルを身につけた。

実施カリキュラムは以下のとおり。

ア. 一般市民向け講座（全4回）

A. 実施日：5月28日（月）

題 目：河内長野市環境基本計画が目指すまちづくりと環境学習について

内 容：日常、ちょっとした気づきで一人一人ができる環境に配慮した行動について学んだ。

B. 実施日：8月22日（水）

題 目：エコクッキング教室

内 容：季節の野菜を使い、調理残渣を減らすなどキッチンで取り組めるエコについて学んだ。

C. 実施日：8月28日（火）

題 目：里山の果たす役割と保全について

内 容：里山の果たす役割とその保全について、団体の活動や経験の話を交えて学んだ。

D. 実施日：9月6日（木）

題 目：水を生み、いのち育む森づくり

内 容：森林の果たす役割や森林整備の必要性について、団体の活動や経験の話を交えて学んだ。

イ. ボランティア養成講座（全10回）

大阪府立大学大学院石井教授を講師に里山保全や生物多様性に関する講演会を開催するとともに、現地研修会として市内に生息する昆虫の調査を実施することで、調査方法や昆虫の分類の指導等のスキルを身につけた。

また、市内で活動している環境ボランティアとともに活動する機会を設け、身近で実施できる環境活動について学んだ。